



1873→2025

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和7年度 (r8) 1月号

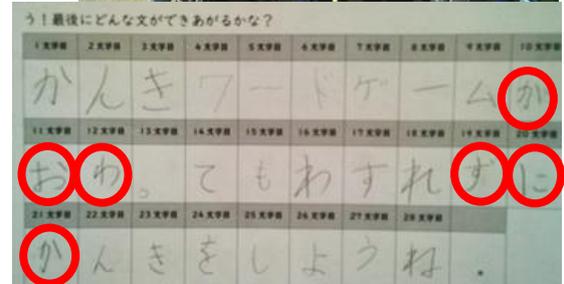
令和7年12月24日
羽曳野市立高鷲小学校
発行: 校長 小島 博之

「ことばの力」を味わう高鷲っ子

12月8日から19日まで保健給食委員会主催の「換気ワードクイズ」がありました。昨年は「換気じゃんけん」として朝礼台から委員会の子が【グー・チョキ・パー】のパネルを示し、教室の窓を開けてみんながじゃんけんをするルールでしたが、窓を開けなくてもガラス越しに見えてしまうことに気づき「窓を開けないと聞きとれない音声」に作戦変更。毎日3文字ずつ発表し、つなげて2週間で1つの文になるクイズをつくりました。

昼休みにクイズが始まると、教室の窓を開けて「聞こえた～【わ】【ー】【ど】って書いて～」と解答用紙に書くだけでなく、朝礼台の近くまで集まってきてかぶりつきで聞く高鷲っ子が日に日に増えて、毎日「ひらがなの足し算と次の予想合戦」。「今日のワードは【が】【お】【わ】です」→「がおわ?」→「??」。「今日のワードは【ず】【に】【か】です」→「かんきわーどげーむがおわってもわすれずにか…」→「か…んきしてね。かな?」「(マスの)字が足りない」「か…んづめたべよう。」「そんなわけないやん!」この推理時間の会話がとても秀逸で、最終日には鈴なりの朝礼台に「やったー」と満足顔がたくさん。高鷲っ子みんなが楽しめるお昼のひとときになりました。

作り手の創意工夫と参加者の興味関心が見事にマッチング。「ことばの力」を味わう高鷲っ子がいい味です。



◆「たかわし」を大切に～【かんがえてうごく】×【わになっておもう】高鷲っ子

12月16日にたんぼぼ学級と4年生の交流タイムがありました。体育館でグループごとにいろんなゲームをしています。「カルタとり」が始まるとどのグループも白熱になりましたが、とあるグループではたんぼぼ学級の1年生の子が1枚も札を取れない様子に気づき、何とかできないものかと思案して「4年生は後ろに手を回そう」ルールを導入。それでもやっぱりとれない状況に「このカルタ(都道府県)難しすぎるねん」「私ら4年生は都道府県勉強したから知ってるけど、1年生わからないよね」とまた思案。すると読み手の子が「もみじまんじゅうの【も】(広島県とは言わない)」などにアレンジ。やっと絵札がとれた1年生の子を見て自分事のように喜ぶ4年生たち。高鷲っ子が自分たちでみんなが楽しめる遊びをつくりました。【かんがえてうごく】×【わになっておもう】めざす高鷲っ子の姿が見られて嬉しいです。



◆1月行事予定(2月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

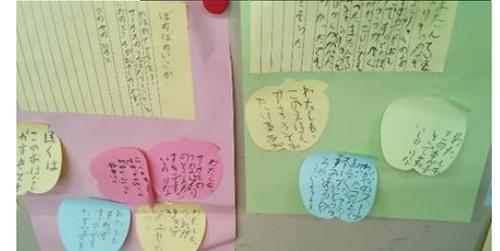
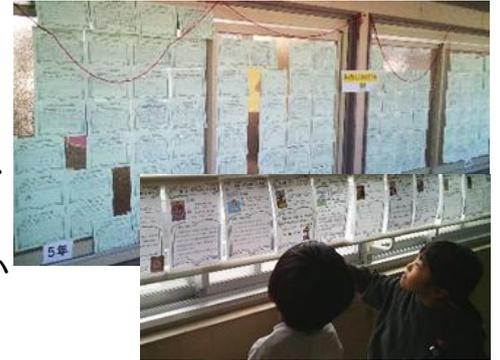
- 2学期も運動会ははじめたくさんのご協力のもと様々な活動ができました。ありがとうございました。
- 2月の参観・懇談は、各学年別で日を設定して実施します。日時が決定次第お知らせします。
 - 令和7年度卒業式は3月18日(水)9:30受付10:00開式です。(6年生・5年生登校)
 - 令和8年度入学式は4月6日(月)9:00受付10:00開式です。始業式は4月8日(水)です。
 - 令和8年度運動会は、近隣の保育所や幼稚園・市の行事等に配慮して、市内小学校ができるだけ実施日を合わせるよう調整しています。このことから高鷲小を含む西地区6小学校で日程を揃えて、令和8年10月17日(土)に実施します。詳細につきましては次年度改めてお知らせいたします。
- 様々ご都合のある中ではありますが、何卒ご理解ご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

「すてき」をみつける素敵さ

12月初旬まで図書館前廊下に高鷲っ子や先生の「おすすめ本」紹介がありました。大好きな乗り物、ネコのファンタジー、友情や正義を考える…個性豊かなハンドルネームとお宝の一冊の紹介文を眺めながら、通りがかりの高鷲っ子が「これいいねえ」「今度読んでみようかな」など楽しそうに話しています。1年生の教室でも高鷲っ子の「大好きな本」の紹介文があり、それぞれの下には色とりどりの付箋に「わたしもこのえほんがだいすきです」などたくさんの感想が寄せられています。

12月19日。2年生が職員室前掲示板の絵を眺めながら一生懸命メモを取っています。「2年生美術館」として[ともだちのさくひんの「すてき」をじっくりみよう]と「すごいじょうず」「こんな絵をかいてみたい」などアートの世界に浸っています。

自分の作品を誰かが見て、感想をもらえると嬉しいですね。せっかくの冬休み。機会があれば図書館や美術館などに出かけて、知らない作品や豊かな世界を見つけるのも素敵ですね。



◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

12月某日に元PTA会長をされていた地域の方から「高鷲小学校の卒業生であり、2年前の創立150周年記念式典にもお越しいただいた、奈良県の當麻寺宗胤院住職で書家の宮下寛昇先生から、ご自身の作品を高鷲小学校に寄贈していただける」とお話があり、私は當麻寺まで参りました。書道ははじめあらゆる芸術の世界の深いお話にどっぷり、筆文字の幾何的な解析に発見と納得の連続、「子どもの名前を書いたらとても嬉しそうだった」に心から共感。極上の時間をいただきました。

ご寄贈頂いた書画はなんとローマ法王のいるヴァチカン宮殿に展示されていたとんでもなくすごいもの。心に染み入るお言葉と優しく温かく力強いまなざしのお地蔵さまの姿は、宮下先生が微笑みながら語りかけていただいているよう。校務員さんのお力で校長室の壁に展示したところ、ボランティアルームのみなさまが「なんとありがたい」と早速ご覧になられました。

高鷲小のご縁にまたひとつ感謝します。高鷲っ子を見守ってくれている真心あふれる書画、ぜひ校長室に見に来てください。

